

つくも山

123回目土別まつり 祭典につどいて絆太くなり

土別神社例大祭の御案内

宮 司 佐藤 元保
祭典委員長 佐々木 元晴
総代会会長 小林 一男

令和三年度土別神社例大祭を次のとおり行います。

7月14日 宵宮祭 午後6時

7月15日 御例祭 午前8時

7月15日 御神幸式 神社発輿 午前9時

□ 渡御巡路図を6頁に記してあります。

□ 本年もコロナ感染拡大防止のため、御神幸式の各駐輿祭は、先太鼓を兼ねつくも太鼓の奉納後、宮司祝詞奏上、代表者玉串拝礼をもって、次の駐輿所へ向かいます。

□ 密接を避け、ご参拝は前後左右2層空けてお願いします。

7月15日 還御祭 午後4時

7月16日 後日祭並びにうぶこまつり 午前10時

□ 後日祭と併せ、赤ちゃんのうぶこまつりを行います。昨年4月以降から本年3月までに生まれて、まだ初宮参りをされていない赤ちゃんが該当します。午前9時50分迄に社務所参集殿へおいで下さい。

※お祭後に、記念写真撮影・お守・守護でんでん太鼓・記念写真をお授けいたします。



令和3年度 土別神社祭典委員会



ご奉仕の光栄に浴して

土別神社祭典委員長

佐々木 元晴

私たちの郷土、土別もいよいよ本格的な夏の日ざしが溢れる季節となり、市民の心のふる里、草木が香る九十九山鎮守の杜には今年も老若男女が心待ちにし、楽しみにしている土別神社例大祭が近づいてまいりました。

土別神社は明治三十二年に御創祀され、土別の歩みとともにその歴史を刻んでまいりました。以来、北の大地の五穀豊穡、無病息災、生業繁栄を願うとともに、地域や家族、市民の平安を願う心の拠り所として誠に大きな存在であり、例大祭も市民にとってなくてはならない大切な神事となっております。

このたび、歴史と伝統を刻み、一二三回目を迎える土別神社祭典の祭典委員長を仰せつかり、身に余る光栄なことと感激するとともに、その使命の重責を厳粛に受け止め、身の引き締まる思いであります。

私事ではございますが、佐々木家は、秋田県生まれの祖父周ノ助が大正五年十月に現在の武徳町に移住し、大正八年に小作農として独立し、以来農業に励んでまいりました。私自身も三代目として就農し営農に励むとともに、畜産業にも取り組む、ヤマサファームは平成九年二月に法人化しました。また、ご高齢になっても家族の絆や地域とのつながりを大切に、その人らしい生活が出来る居場所づくりのため、平成十六年にはグループホームを営む有会社和を設立いたしました。いずれの事業も異業種への挑戦でございましたが、多くの皆様からご支援とご厚情を賜り、おかげさまで持ちまして今日まで続けていくことができております。

現在地に居を構えてから、土別神社祭典委員会の役員として数度、ご奉仕の機会を頂戴してまいりましたが、今回の祭典委員長拝命は、家門の名誉と謹んでお受けし、これまで土別の皆様から多く賜りましたご助言、ご支援の数々への感謝を胸に、そのお返しとしては十全には至らずとも、微力ではありますが渾身の力をふりしほりご奉仕させていただきます。どうぞ覚悟でございます。

祭典に関しましては、役員各位のお力添えを賜り、また多くの事業所、団体、市民の皆様のご奉仕を頂いておりますことに心より感謝申し上げます。

昨年来、世界を覆いつくす大きな禍となっております新型コロナウイルスを吹き払い、秋の豊穡と生業繁栄、市民の皆様健康と安らぎ、さらには土別市の繁栄を祈念しつつ、感染のリスクを避け安全第一に祭典を取り進めてまいります。

現下の状況に鑑み、市民の皆様のご理解ご協力を重ねてお願い申し上げます。ありがとうございました。

祭典副委員長



河野 孝幸
(総務)



長尾 宜利
(渡御)



辻本 康行
(車輛)



但木 行久
(設備)



志村 孝幸
(奉納行事)



大橋 直幸
(接待)



近井 孝義
(交通指導・警備)



織戸 徳俊
(子供神輿)



高橋 光則
(稚児)



林 茂男
(賽物)



山崎 敏文
(神社)



水田 孝志
(広報・記録)

祭典篤志奉納について

故郷士別の開拓以来、五穀豊穰と商売繁盛、さらには市民の安全、市内平安を祈願する伝統ある士別神社祭典も、本年で123回目を迎えます。

例年ですと、各企業様他の篤志奉納金等のご寄進により、厳かにかつ賑々しく斎行いたして参りましたが、本年も新型コロナウイルス感染拡大の状況下、例大祭における各種行事の大幅な見直しを行い、事業費の軽減を図ることといたしました。このことにより、例年皆様方にご協力をいただいております篤志奉納金等につきましても、ご寄進の依頼は行わず、例大祭の規模を縮小し粛々と斎行することといたします。

なお、一部企業様他のご好意により、篤志奉納がありましたことに、厚く感謝申し上げます。本来ですと、広報紙「つくも山」にご芳名を掲載いたすところですが、誠に勝手とは存じますが、割愛させていただきますので、ご理解を賜りたいと存じます。

このほか、各自治会様からも「祭典奉納金」のご協力をいただいております。
改めて、皆様の温かいご支援に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

車輛奉仕芳名 (順不同・敬称略)

- 協友建設 (株)
- 協業組合 北部ガスセンター
- 運 士別運送株式会社
- ミタツ (株)
- 有野産業 (株)
- 士別グランドホテル
- 有アーキッシュコーポレーション
- 北海道ブロック住宅 (株)
- 道北自動車学校 (株)
- フジヤ住設工業 (株)

大神輿さまを

心をこめて

お迎え

しましょう



☆ ご神幸式は、常に郷土の平和をお守り下さる氏神様が、年に一度市内を巡り皆さんの生活をご覧になると共に、氏子が身近に神様をお迎えし、感謝の祈りを捧げるために行われます。

☆ 先ぶれの広報車が通って間もなく、お神輿さまが参りますので、家族そろって道端に出てお迎えいたしますよう。家族の平和な姿こそが、もつとも神さまがお喜びになります。

☆ お賽銭、お供え物、お米などは、行列の前後から来る賽物車に納められるか、近くの駐輿所にお供え下さい。お名前をつけて下されば幸いです。

123回士別まつり



九十九山から…



明治32年7月、28県人からなる北海道最後の士別屯田兵勢揃いの13日夜半、百番目の家が焼け出される思いがけぬ災難、広がる動揺を静めようと名越源五郎中隊長は天照皇大神の木標を祀って、入隊式を挙行しました。

士別開拓の礎、士別神社ご創祀の日、7月15日は士別まつりとして伝えられ、今年123回目を迎えます。

当番区は武徳を含む北地区、一生に一度奉仕の祭典委員長には親栄自治会の佐々木元晴

氏(侑和代表取締役・農)ヤマサファーム会長が推薦されました。親栄自治会からは平成19年吉井秀二委員長以来15年ぶり。4月14日就任奉告祭、第1回正副委員長会議、祭典事務所は参集殿2階に特設、各役員も選任されました。

未だコロナ禍が収束しない状況下、本年も昨年同様、全行程広報車つくも太鼓を先頭に救護車迄13台で自動車渡御、20ヶ所で駐輿祭、安全第一に84回ご神幸式の成功を期し、諸準備進行中です。

◆東京士別ゆかりの会 藤井信男会長は、35周年を記念に來市植樹を計画、コロナ禍で中止、中澤康夫事務局長 西士別出身から当社120周年事務局長朝日保氏(昨秋札幌転出)を通じて、さら基金を募財の話がもたらされたため九十九山を守る会に依頼、川副春夫会長が直接電話連絡市内有志募金を含めて、暗渠排水工事、桜の幼木14本を植樹、5月12日には記念碑も建立されました(上の写真)。

◆東2の5酒詰史子氏は、離市記念に金10万円をご奉納。5月釧路市へ転出されました。◆迎春に際し京都市相原満・函館市佐藤実・豊田市高井

悟・札幌市瓜生和幸・新座市佐藤允克・樺原市佐藤隆士・加古川市佐藤慈宏の各氏より篤志奉納を賜りました。

◆金井恵美子氏は正月節分祈年祭他祭典毎に鏡餅外ご奉納。坪田公義氏は餅米一俵ご奉納。

◆明治30年以来125年ぶり2月2日に訪れた節分、ついな式は中止、奉仕年男女女には家庭で、福まき品を授与しました。

◆3月3日、32回人形供養祭

◆祈年祭 豊穰祈願祭は4月24日66人の奉賛を賜り、コロナ禍収束、植樹奉告祭を兼ね齋行されました。

◆九十九山の桜は5月7日開花、11日満開となりましたが桜まつりは中止。境内聖徳神



九十九山の四季 募集中
写真コンテスト
〈つくも山紙令200号記念〉

○メ切/令和4年3月一杯
○カラーA4または四つ切判
題名・氏名・住所・掲載日明記
○九十九山の四季・人との関わり
祭典行事・スナップ一切を含む
折にふれて掲影ご応募を!!

□災難除厄払い随時齋行
(先ずご連絡下さい)

□結婚式は神前で! (出張挙式も同様奉仕)

□新築増改築の時は、地鎮祭、上棟祭を!

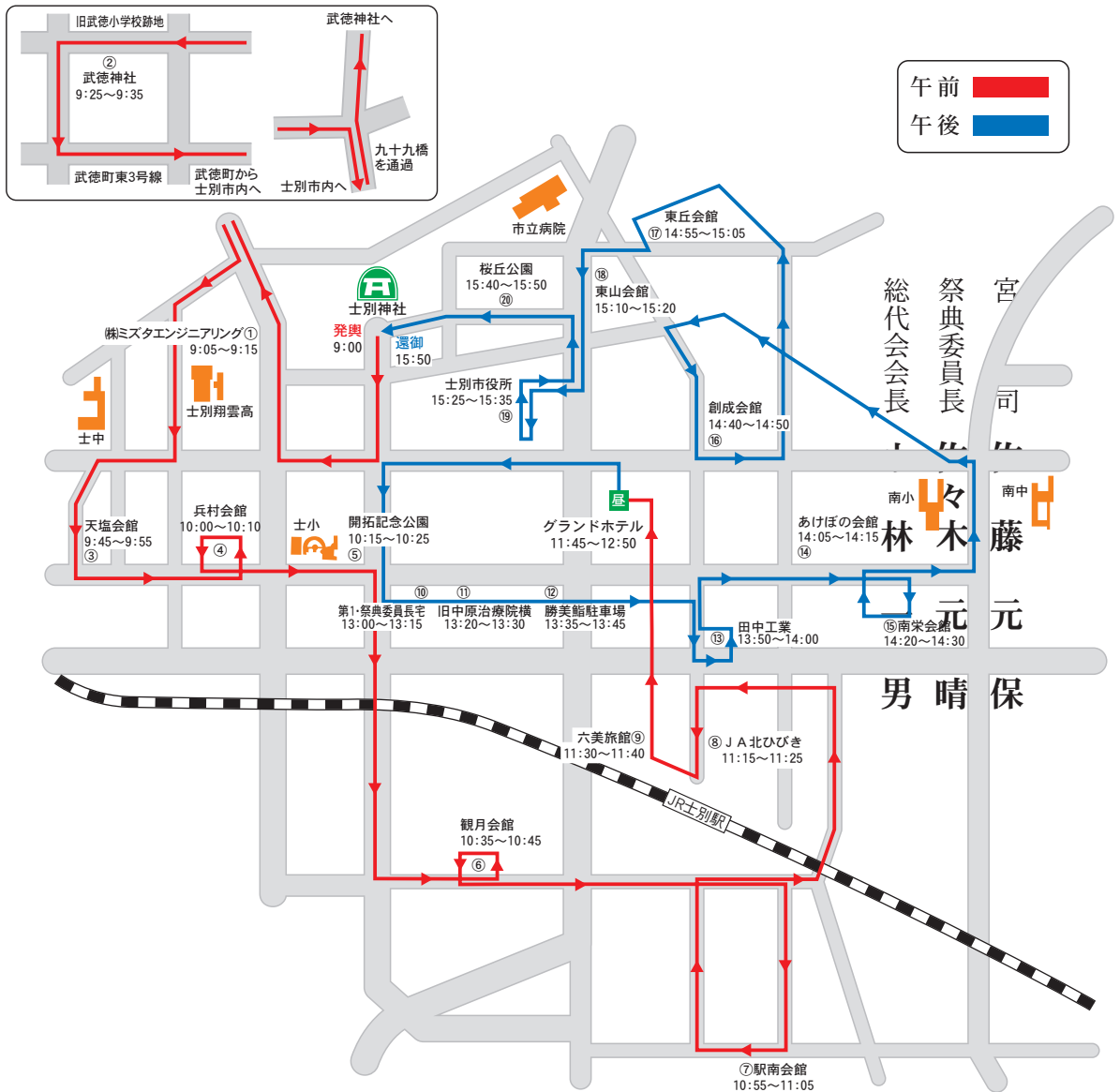
□引越しの場合は、新宅祭、家移清祓式を!

□自動車、バイク、トラクター、重機、機械を入れた時は安全祈願入魂式を(お守呈)

■神事諸祭事信仰生活上の種々のご相談は
電話またはFAXでお気軽にどうぞ
〈お祝い・ご祈禱のご依頼は〉

士別神社 TEL 23-2243
FAX 22-2553

令和3年度 士別神社例大祭御神幸式巡路図



つくも山 第200号
 令和3年7月1日
 士別神社祭典事務所
 士別神社社務所
 〒095-0008 北海道士別市九十九山
 ☎23-2243・FAX22-2553
 祭典広報係長 北村浩史
 祭典総務係長 河野孝幸
 印刷 斉木印刷株式会社



- ◎渡御にあたって事故防止のため、関係者の指示にご協力をお願いいたします。
- ◎ご参拝は密接を避け、前後左右2m空けてお願いします。
- ◎玉串奉奠については、自治会代表者にてお願いします。

士別神社ホームページアドレス <http://shibetsu-jinja.jp/>